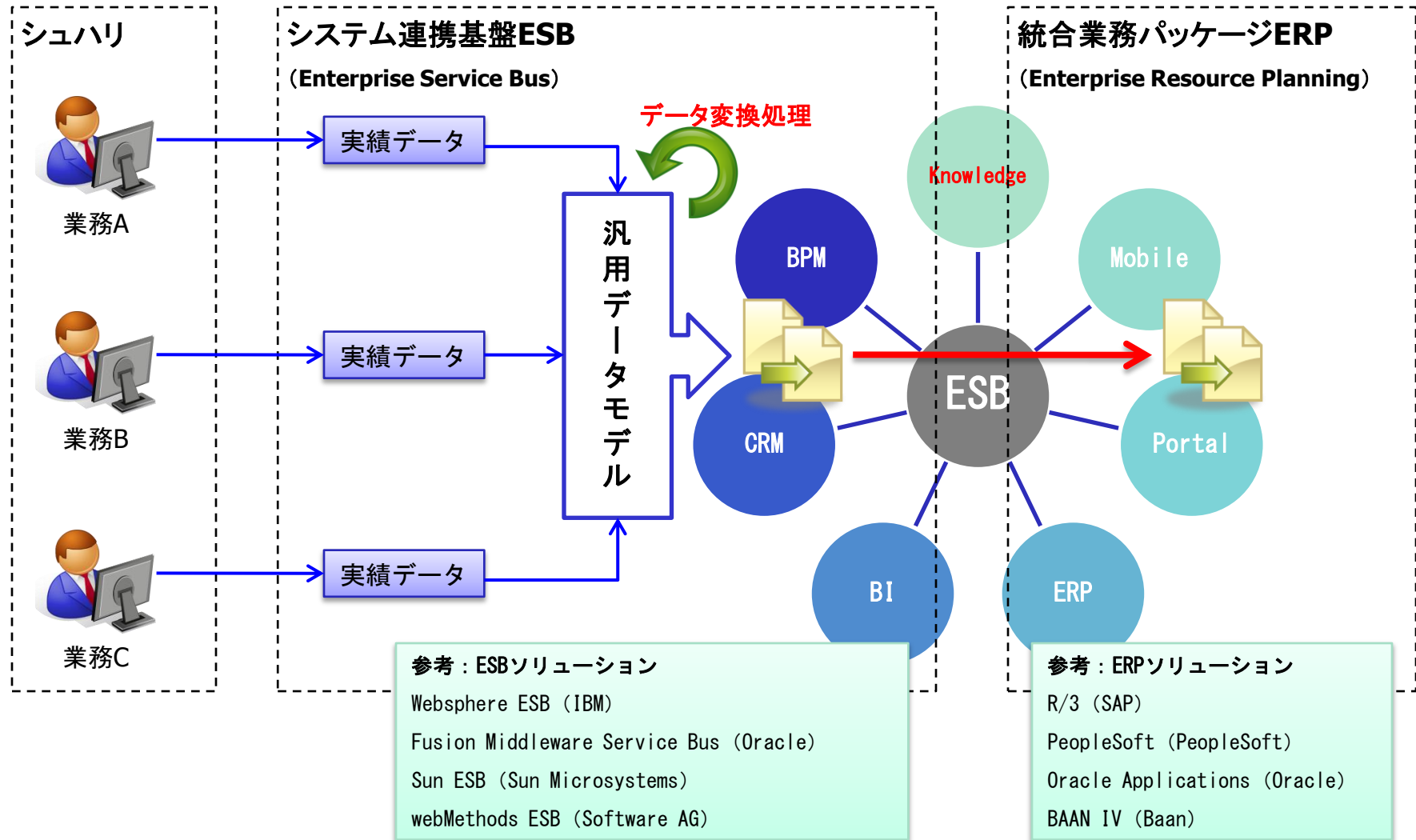


業務をテンプレート化し、業務の流れをコントロールする。業務改善ソリューション

シュハリ*データ連携

シュハリでは、データ連携機能により外部基幹ソリューションとの連携が可能です。
一般的に基幹ソリューションとのサービス同士の連携には、ESB等を介して行います。



→テンプレートファイル設定

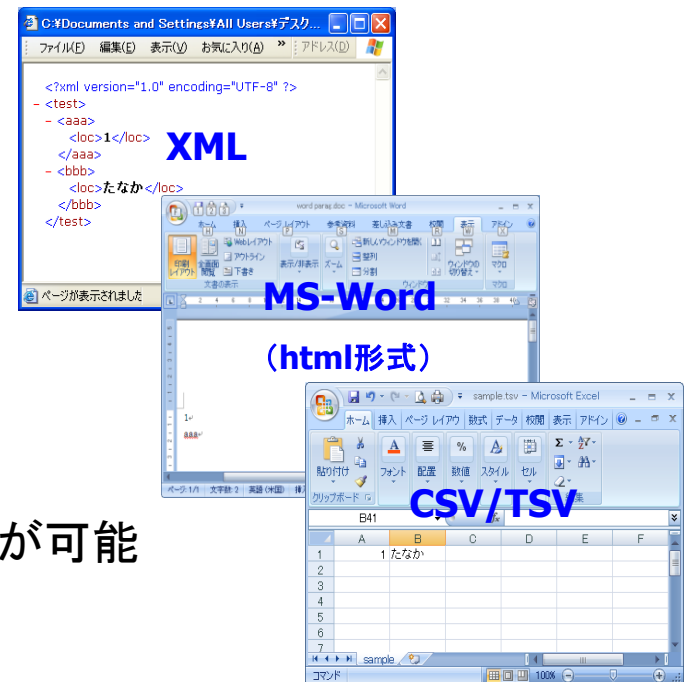
- ◆テンプレートファイルは UTF8テキスト形式 であれば、拡張子は不問
 - TXT/CSV/TSV/XML等の他に、html形式のワードファイルなども指定可能

→テンプレートへの出力項目設定

- ◆シュハリの実績投入画面の項目を任意設定
 - 項目毎の出力有無をテンプレートに設定

→複数テンプレートの設定

- ◆作業のプロパティファイル毎に設定可能
 - 業務フローパターン別に出カフォーマット指定が可能



→ファイル出力設定

- ◆出力ファイル名や、出力先の設定

- ▶ カスタムプロパティの設定で詳細設定が可能

→ファイル出力条件設定

- ◆特定の出カタイミングを設定可能

- ▶ 承認時、否認時など条件設定が可能

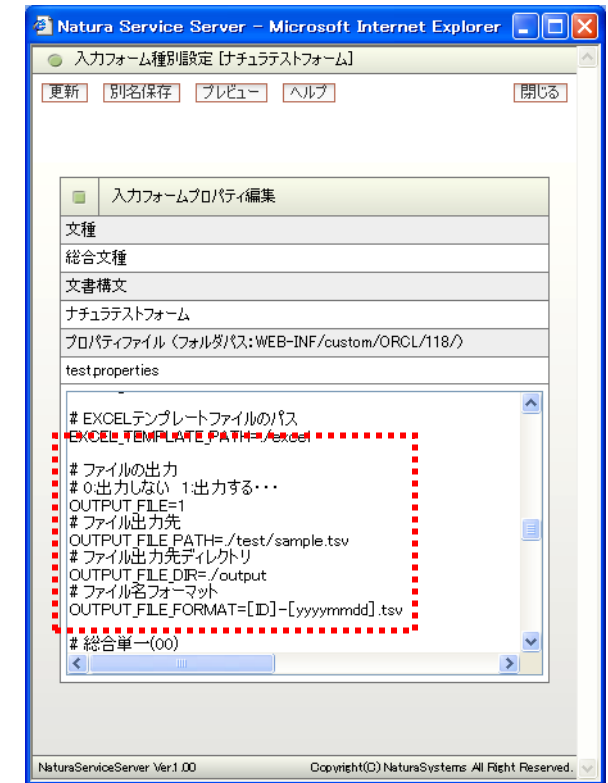
→FTP連携

- ◆出力ファイルを任意のFTP先へPUT可能

- ◆共有ディレクトリなどの指定も可能

→SOAP連携

- ◆SOAPにて出力ファイルのデータを取得可能



→低工数

◆ERPより容易にビジネスロジックの作成が可能

→低コスト

◆ERPより低コストで、ワークフローを実装可能

→ライセンスの節約

◆フロント業務のみしか使用しないユーザのライセンスを節約可能

※ERPのデータやプロセスに対する連携ではありません

ビジネスロジックの住み分けを勘案して最適な構成は、ケースにより異なります